

広

報

しべ

1

1997

萌える海と大地 さわやか交流郷

No.359

船
出

福澤 英雄さん撮影



(写真は町民から公募し、その中から選ばれた作品です。)

賀正

本年もよろしく

お願いいたします

ごあいさつを申し上げます

標津町長

小田桐 四郎

町民の皆様、明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年を皆様とともに迎えられますことを謹んでお慶び申し上げます。昨年は町政各般にわたり、町民の皆様から寄せられました格別なるご支援とご協力で心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年の町政の歩みを振り返ってみますと、平成六年十月、不幸にして起こりました北海道東方沖地震の教訓から、災害情報の早期伝達を図るために整備を進めておりました「防災行政無線システム」が四月に開局の運びとなり、また生涯教育の拠点施設として待ち望まれていた「生涯学習センター」併せて本町のメイン施設であります川北パークゴルフ場が七月にオープン。図書館が装いも新たに十二月から利用に供されるなど、予定されていたハード事業が概ね完成を見、また、あすばる別館（農村環境改善センター）の文化的施設としての改修、住民福祉センターの建設であります保健福祉センターの建設も本年三月の完成に向けて順調に進捗しているところであります。

次に、基幹産業の状況でありますが、農業にあっては、全道的な天候不順から牧草生産が減少し、その影響が懸念されたところでありますが、幸いにして生乳生産におきましては、経産牛頭数の増加や一頭あたりの乳量の伸びに加え、生産者の各位のコストダウンの努力によりまして昨年を上回る生産額を確保したところであります。一方、漁業におきましても鮭定



小田桐町長

置漁は、高いレベルのふ化放流技術に支えられまして、一昨年に次ぐ史上二番目の漁獲量を記録したところでありますが、三年連続の魚備安から近年最低の漁獲高となりましたが、漁協及び経営者自らが生産コストの削減や消費流通対策あるいは経営改善の努力が実り、すべての漁場において黒字転換となりました。

す国際化、自由競争の荒波に曝され、極めて厳しい環境下において経営者各位の血のにじむような努力により、一定の成果を収められましたことに深く敬意を表する次第であります。

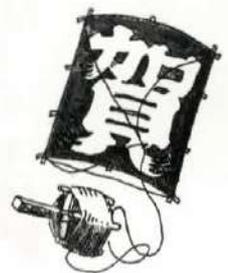
置漁は、高いレベルのふ化放流技術に支えられまして、一昨年に次ぐ史上二番目の漁獲量を記録したところでありますが、三年連続の魚備安から近年最低の漁獲高となりましたが、漁協及び経営者自らが生産コストの削減や消費流通対策あるいは経営改善の努力が実り、すべての漁場において黒字転換となりました。

し、まさに憂慮すべき事態を迎えております。社会のあらゆる仕組みを問い直す胎動の渦中において二十一世紀の新しい時代を展望するとき、迫り来る高齢化社会の対応、基幹産業の立て直し、教育環境の整備充実などが急務の課題として求められ、今世紀残された四年の間に然るべき道程をつけなければならぬと考えております。

私共は、これまで「住んで良かった喜びを語り合える町」を目指して、町民の皆様とともに努力してまいりました。皆様のご支援とご協力をいただきまして、それなりの成果を得たものの二十一世紀の新しい扉を開き、理想郷標津町の建設に思いを致すとき、立ち上がる多くの困難に果敢に挑戦し、献身の努力をもって、七千町民の幸福を築かなければならないという使命感がふつと満ちてくるのを覚えるものであります。

本年もまた、町民の皆様とともに標津町の輝かしい未来を築くために持てる力をすべて傾けてまいります。同時に直面するであろう多くの困難や苦悩については、胸襟を開いて皆様の助力を仰ぐ所存でありますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

念頭にあたり所信の一端を申し述べ、町民の皆様にとりまして最良の年であることをご祈念申し上げます。新春のごあいさつをいたします。



謹んで新春の

標津町議会議長

荒谷良治

町民の皆様明けましておめでとうございます。平成九年の輝かしい新春を皆様とともに迎えることができまして大変うれしく、心よりお慶びとお祝いを申し上げます。議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

顧みますと平成八年は、国内外ともに多事多難、激動の年であり、人道にはずれた紛争や凶悪な犯罪、人為的環境破壊による公害や災害など世界の至るところで発生し、国内においても豊浜トンネルの崩落事故、葉害エイズや大腸菌O157、オウム真理教裁判などの真相が解明されてくると恐怖さえ感じ、日常生活の中で何時予期せぬ事件に遭遇するかわからない世相かと思うと戸惑いを覚ええます。また、行政改革、地方分権などによって中央集中行政を国と地方自治体との関係を上下主従関係から対等、協力という役割分担の計画が進められている中で、汚職や贈賄、不透明な会計など各省庁や自治体より続出しており誠に残念なことでもあります。

振や信頼を裏切ることのないよう努力しなければと思いを新たにしているところです。

本町の基幹産業である農業、漁業の一次産業は年々ガットウルグアイランドによる自由化の影響などで厳しい状況下にあります。

酪農においては牛肉や個体価格の低迷が続いており、生乳生産量は夏の冷涼など好条件もあり順調に推移するも後半、長雨や気温低

が魚価格に見舞われており、特にサケが主生産の本町では数量では一万八千トンと好漁なるも、価格は平均単価百八十円弱という過去最低の安値で漁業者の自助努力の範囲を超えており、また、構造的要因も重なりこのままでは統合や合理化で解決される問題ではなく、漁業経営自体の先行きが非常に心配されるところであります。

全道議長の定期総会において



荒谷町議会議長

テレビ放送やマスコミに大きく取り上げられ、本町の観光、経済に重要な役割を果たしています。

文化活動の拠点施設として建設された生涯学習センターも行事や集会に有効に利用され、町民の交流の場としてまた生涯学習としての趣味や特技にその目的を十二分に果たしており喜ばしいことです。

下など天候不順で粗飼料の質の低下で減少しましたが、例年より多い計画の達成ができました。しかし、畜産ふん尿の流出による河川汚濁や、自然環境の汚染が大きな問題となっており、これらの防止対策としてふん尿を豊かな資源として有効活用を図るための施設整備が進められており、今後大きな負担を余儀なくされるものと思われれます。一方、漁業においても輸入水産物の増加などから主要魚種

現状打開のため議題として提出し採択され、基本的には我が国の漁業を食糧産業として明確に位置づけ生産、経営、流通全般にわたる施策の中で長期的視野に立った総合的な価格安定制度の確立の必要性を要望し、道議長会としても各省庁へ要請を行ったところです。

忠類川サケマス有効利用調査も二年目に入って全国的に知れわたり、釣り人となる調査従事者も昨年の一・五倍の六千七百人に増えます。

個人六人・一団体が

喜びの受賞

平成八年度 標津町表彰式

平成八年度標津町表彰式が十一月三十日、生涯学習センター・あすばるで開かれました。

この表彰式は、本町の経済・社会・福祉・教育・文化などの発展に顕著な功績のあった個人や団体に對し、町表彰条例に基づき表彰

状を贈り、その功績をたたえるものです。

今年度は功労者二人と一団体、優良勤労者四人を表彰、また三十二年間町税納期内完納者に感謝状が贈られました。

受賞者の方々を紹介します。

を担当、積極的な技術向上への取り組みは、職場の範とするところであり、その誠実な勤務姿勢と人柄は、だれもが認めるところである。

▽齊藤みえ子さん (57)

昭和四十九年から(株)上田組に勤務。豊富な経験と努力により熟練した技能を発揮する一方、温厚かつ誠実な人柄で社内の融和と協調を図り、職場の模範的存在である。

【産業貢献賞】



笹川 安弘さん (74)

昭和26年笹川水産創業以来、今日までの永きにわたり、水産食品製造業を営み、製品開発、加工技術の向上に挺身。昭和37年には、標津漁協卸売市場買受人組合初代組合長に就任、昭和59年まで同組合長の要職を歴任された。

昭和58年には、「ふさわしい品格と味」を評価され、笹川商店の筋子・たらこは新潟県の業者を仲介し初めて宮内庁に納品、以来今日まで、宮中御用達の店として厳選された高品質商品の献上を続けている。標津産水産加工食品の技術革新とグレードアップに大きな足跡を残すとともに本町地域産業の振興、発展に多大の貢献をされた。

【社会貢献賞】



小野 敬治さん (70)

昭和26年標津村消防団に入団、以来40年有余の永きにわたり、専ら地域住民の生命と財産を守るため、使命感をもって消防業務に精励。豊富な経験と知識・技能を遺憾なく発揮し、中堅幹部として部下団員の指揮にあたり、消防防災思想の普及、意識高揚に積極的な啓蒙活動を展開するなど、町民の安全確保のため尽力、大きく地域社会、民生の安定に貢献された。

【善行賞】



川北温泉愛好会 (村上正平 会長)

川北温泉が露天風呂として再生した昭和61年に川北温泉愛好会を設立。現在までの10年間にわたり、ボランティア活動で施設の清掃及び周辺の整備等、入浴客へのマナー徹底を図ってきたことにより、今や標津町観光の一躍を担う「秘境川北温泉」としてクローズアップされるまでに成長を遂げ、町内外を問わず多くの観光客が訪れている。

このことは会員それぞれの愛郷と奉仕の精神から端を発したものであり、地域環境整備活動の実践として高く評価されるとともに本町の観光振興に大きく貢献された。

【優良勤労者】 (4人)

▽原田 寛さん (55)

昭和四十七年より太平洋建設工業(株)標津工場に勤務。一貫して商品輸送に従事し、適切な判断と卓越した運転技能をもって、交通安全・事故防止に努めるとともに上司、同僚の人望も熱く、他従業員の模範的存在である。

▽若杉幸男さん (55)

昭和四十年から阿寒バス(株)標津営業所に勤務し、営業バスの運転手として卓越した技能をもって、安全な旅客サービスに徹するとともに職場内の融和・協調を積極的に図るなど上司、同僚に全幅の信頼を得ている。

▽横田カツエさん (58)

昭和五十一年から標津漁協冷凍加工工場(現・産地加工センター)に勤務。以来、一貫して加工作業

町税三十年間

納期内完納者 (29人)

- ▽故・猪狩春吉
- ▽石田佳夫
- ▽板垣敏
- ▽入江タカ
- ▽大菅豊市
- ▽故・小野瀬登
- ▽片山初太郎
- ▽金川昭夫
- ▽榎木慶矩
- ▽河端照子
- ▽菊池十一
- ▽菊池正治
- ▽工藤兵次郎
- ▽久保重晴
- ▽熊谷栄一
- ▽笹谷絃一
- ▽新川由衛
- ▽住田敬一
- ▽戸村文昭
- ▽新井田正
- ▽畑中勇
- ▽畑中昭吾
- ▽林末蔵
- ▽林秀雄
- ▽古川和夫
- ▽古川八十一
- ▽松本光弥
- ▽村山国男
- ▽村山徳夫
- ▽森岡保

|| 五十歳・敬略 ||

図書館が改装 オープンしました

～お気軽に
ご利用ください～



新設された一回の読み聞かせする「お話コーナー」(右)。閲覧スペースをゆったりとした二階部分(下)

旧中央公民館の建物の二階部分を改装して十二月十五日、図書館が改装オープンしました。

一階には「お話コーナー」を新設し、児童文学と文学関係書を。新たに拡張した二階には「参考資料室」「学習室」を置き、各分野の専門書と辞典類を収蔵したほか、一階同様、ゆったり閲覧できるスペースを取りました。延べ床面積は約六百六十平方メートルと従来二倍の広さになりました。

現在の蔵書は三万六千冊ですが、専門図書を中心に充実を図り、平成十二年度までに五万二千冊とする計画です。図書館では「一人でも多くの町民が、気軽に利用してほしい」と呼びかけています。



利用のご案内

▼初めて本を借りる方

受付カウンターで利用者カードに記入してください。

▼本が見つからない時は

探している本が見つからない時は、お気軽に職員にお尋ねください。それでもない時は、リクエストしてください。きっとあなたにお届けします。

▼図書館で本を読む時

二階の参考資料室、学習室のテーブルまたは、閲覧コーナーの椅子テーブルを自由に利用してください。

▼本を返す時

カウンターにお返しく下さい。

▼本をコピーしたい時

著作権法に基づき、実費でコピーします。

▼開館時間

午前十時～午後六時

▼休館日

毎週月曜日と祝日、毎月最終木曜日(整理休館日)

▼貸し出し

一人一回五冊まで二週間借りられます。

※わからないことは、お気軽に職員にお尋ねください。

交通事故死ゼロ 500日達成



交通事故死ゼロ500日達成で表彰を受ける正田町交通安全推進協議会長

本町での交通事故死ゼロの日数が十二月十三日で五百日達成。同日、北海道交通安全推進協議会から、町交通安全推進協議会(正田敏一会長)への表彰状の伝達式が役場で行われました。

交通事故死ゼロの日・五百日

達成は、本町では昭和六十二年以来九年ぶり。死亡事故は、昨年七月三十一日に伊茶仁と川北で発生。以来、観光客の入れ込みなどで交通量が多くなっているものの、交通事故死ゼロの日が続いています。

町内では、同推進協議会をはじめとして交通安全指導員、

町内会連合会、各事業所など一丸となって交通安全の推進に取り込んでおり、正田会長は「地域と協力して一日も長く無事故を続けていきたい」と交通安全運動の推進に意欲を見せています。

冬期間は路面が圧雪、アイスバーンとなり滑りやすくなり、スリップ事故が多発します。運転者はスピードダウンと車間距離を十分にとり、シートベルトは必ず着用し、悲惨な交通事故を防ぐため、町民一人ひとりが交通安全に心がけましょう。

TOWN NEWS



前町長小野さんの叙勲受章を祝う

叙勲受章を祝う

秋の叙勲で勲五等双光旭日章を受章した前町長小野幸三さん（七七歳・札幌市在住）の受章記念祝賀会が十二月二日、生涯学習センター・あすばるで開かれました。

小野さんは、昭和八年に当時の標津村役場に奉職。その後、優れた行政手腕と人格を高く評価され、昭和二十六年三十三歳の若さで標津村役場助役に就任。さらに昭和三十一年から中標津町助役に就任し、二期六年余り在職。

昭和三十八年標津町長に当選、以来昭和四十八年まで在職。昭和

誉に輝きました。

五十二年から再び町長に就任し、昭和六十年まで町長として通算五期十八年余りの永きにわたり、地方自治の発展に大きく貢献しました。これらの功績が認められ、叙勲の栄

この日の祝賀会には、根室管内四町の歴代町長を初め関係者約二百三十人が出席。発起人を代表して小田桐町長が「氏の活躍は本町発展の歴史そのもの。郷土標津の一層の発展に支援をお願いします」とあいさつ。引き続き来賓のあいさつのもと、小野さんと長男直樹さん、写真が登壇、直樹さんが本人に代って「在職中は大変お世話になりました。叙勲は皆様のおかげ。今後は健康に留意し、父らしく生き生きとした生活を送りたい」と謝辞を述べ、祝宴に入り叙勲の受章を祝いました。

町の景観ガイドプランに基づき

眺望ポイント完成、総合案内サイン設置

町では、「展（あした）を創る町民会議」の検討結果をまとめた「標津町景観ガイドプラン」に基づき、景観形成事業を進めています。この一環として、このほど国道沿いの自然景観眺望ポイントが完成したほか、町内に総合案内サイン

写真四基を設置しました。

自然景観の眺望ポイントは、国道二七二号線沿いの中標津町との町界付近（茶志骨）に完成したもので、町の要望から鋼路開発建設部が設置。ここから眺める知床連山と広大な牧場の風景は壮大で、乗用車十五台とバス四台の駐車が可能です。一部芝生の造成や街路灯設置等の工事が来年度に予定されていますが、標津町の新たな観光スポットとして人気を呼びそうです。

です。さらに現在、道道川北中標津線の中標津町との町界付近にも、同様の眺望ポイントを造り造成中。町では、眺望ポイントに総合案内サインや展示施設などを設置し、より利用しやすい施設にしていこうと考えています。

総合案内サインは、サーモンパーク内、北方領土館前、川北生涯学習センター前、国道二七二号線眺望ポイント（茶志骨駐車場）の四箇所に設置したもので、高さ二m、幅二・七mのステンレス製。案内板は二枚組で、一枚には根室管内を中心とした地区の主な観光施設と標津観光十景を写真入りで紹介し、もう一枚は町内の地図上に公共施設、観光施設などを掲示しており、英語、ロシア語も併記されています。

看板のデザインや色、大きさは、景観ガイドプランに基づくもので、自然景観との調和に配慮されています。このサインの設置は、町内を訪れる観光客などが少しでもわかりやすく目的地に行けるよう案内することや、町内の施設をより一層PRすることを目的とするもので、その役割が期待されています。





グリーンフレンズ結成5周年 記念コンサート

町内の女声合唱サークル「グリーン・フレンズ」(団員二十一人・今野則子代表)が

今年で結成五周年を迎え、その記念コンサートが十一月二十三日、「あすばる」で開かれました。

コンサートには、指揮の藤田洋三標準高校教諭のほか、結成期に指導した十勝管内本別町在住の藤原靖文さんも駆け付け、「懐かしい歌を集めて」「心打つ曲に魅せられて」「ひとあしはやいクリスマスソングを」の三部構成で、五年間の集大成として、息の合った素晴らしいコーラス計十四曲を披露。会場を訪れた約二百三十人の聴衆から盛んな拍手が贈られていました。コンサート開催にあたって、今野代表は「念願の五周年記念コンサートを聞くことができ、団員一同大変うれしく思っています。これからも団員仲良く前進していきたい」と話してくれました。



農業研修生に 選ばれ ブラジルへ 大西くん(茶志骨)

21世紀を担う農業後継者を育成することなどを目的に行われている農業高校生ブラジル実習派遣事業(日本学校農業北海道連盟主催)の研修生に大西亮祐くん(茶志骨・中標津農業高校3年)が、全道から多数の応募がある中、10人の中に選ばれました。

研修は1月8日から20日間にわたり、ブラジルでの農業実習、農業事情視察、交流などが行われ、参加にあたり大西くんは、「ブラジルで多くのことを学んできたい」と抱負を話してくれました。

21世紀への自分づくりを

管内婦人大会

十一月二十九日、第三十四回根室管内婦人大会が「あすばる」を会場に開かれ、管内の婦人団体から百七十人が出席。「二十一世紀に向って」をテーマに、自分づくりをめざして「をテーマに、社会の変化に対応した新しい家庭づくりを目指す婦人の役割について研修を行いました。



農村景観整備進む 東古多糠で統一看板設置



東古多糠営農推進組合(小林和敏組合長)では、このたび、農家周辺の環境整備と農村生活を潤いのあるものにしようと、統一した農家表示看板を参加農家6戸に設置しました。

この看板は、町が景観形成のためのガイドプランに沿って今年制定した「活力と潤いとやすらぎのあるまちづくり条例」により補助を受けたほか、農協からの補助も受けて製作されました。

看板の設置は、すでに西北標津営農推進組合14戸、北古多糠同組合6戸、北川北同組合8戸が実施しており、次第に広がりを見せています。

120人がもちつきを 楽しむ

手をつなぐ親の会(渡辺文雄会長)の主催により、今年で三回目を迎えたふれあいもちつき会が、十二月十四日、標津小学校体育館

大会では、「仕事と家庭内役割と男と女」をテーマに旭川大学女子短期大学生活学科助教授の藤原潤一氏が「今後の高齢化社会では、女性がもっと働かなければ経済的に生きていけない社会となるのが現実。女性にとって働きづらい日本の職場を日本の良い伝統だといっている男性は、南アフリカのapartheid(白人と黒人の人種差別)に近い考え方だと思う」などと講演。この後、分科会が行われ活発な意見が出されました。



で行われました。参加したのは、町内の園児、小中学生とその保護者、ボランティアなど約百二十人。もちつき体験のほか、ゲームや絵本の読み聞かせ、紙芝居なども行われ、昼には自分たちでついたもちを、ぞうにやおもしろい、きなこもちにして食べ、楽しいひとときを過ごしました。

みんなの広場

皆さんの声を
このコーナーに
お寄せください

丑年生まれの方に 今年の抱負を 聞きました

— 大正2年生まれ (84歳) —
▽私はまだまだ人生に余熱ありと信じ、この歴史ある郷土の発展に努める決意です。

佐々木正一さん (東浜町・無職)
— 大正14年生まれ (72歳) —
▽いつでも元気が一番。老人クラブでの踊りやカラオケなどを今年も元氣よく続けていきたい。
小野ヲトメさん (桜ヶ丘町・無職)
— 昭和12年生まれ (60歳) —
▽病気をしてから健康のためにパークゴルフを始め、今ではすっかり元氣に。今年も元氣にパークゴルフを続け、多くの大会に出場して上位入賞を目指したい。
竹口喜代次さん (鳩ヶ丘町・会社員)

— 昭和24年生まれ (48歳) —
▽年が明けて21世紀まであと3年厳しさの増す酪農だけど、地域の皆さんと知恵・力を出し合い、牛歩の如く前進する年になりたい。
大桃幸男さん (北標津・酪農業)
— 昭和36年生まれ (36歳) —
▽社会人として中堅となり、また親ともなった。今後とも今以上の責任と自覚を持って何事もやっ



今年が丑年。
良い年になりますように

いきたい。漁業は厳しい状況だが「がんばるぞー」
— 渡部秀人さん (伊奈仁・漁業)
— 昭和48年生まれ (24歳) —
▽昨年は、子供たちがゲームの話をしてもらったので、今年は絶対ブレステカ64を買う!! そして、スノーボードも極めて、子供たちをアツと言わせた。
池田聖さん (古多糠・教諭)
— 昭和60年生まれ (12歳) —
▽今年が小学生最後の年なので、何事も一生懸命過ごしたい。また小学校の楽しい思い出をたくさんつくりたい。
波切知佳さん (弥栄町・小5)

※「Q&A」コーナーは、お休みしました。

時事川柳

市長選挙識勝つたか乾杯
医学部の権威哀れや金金金
カラカラの始末が下手と権威が笑う
道端の名もない花の種ひろう
お誘いの電話張り切り返事する
待合所喜怒哀楽の花咲かせ
日曜はスキーのあとの野天風呂
小鳥たち餌箱に集つ冬到来
お年玉子供を避けて通る道
輸入国相撲も舶来優勝し (武蔵丸)
野心家の男に地球せますぎ
押し花を添えて友に賀状出す
同窓会逢えて飲み合い夕日の顔

小路惣一郎
" "
" "
戸村 寿生
" "
" "
今泉 順一
" "
" "
木枯紋次郎
太田 明人
岩佐 徳子
" "

新町民に スポット

主 婦 紀 さん
徳 永 真 紀 さん



「こんなに魚が
おいしいとは…」

「主人のお母さんから、サケの身おろしを勉強中なんですよ」と笑顔で話す徳永永真さん (川北共栄町・24歳)。
高校まで富良野市で育ち、旭川市の福祉専門学校(保育科)を卒業後、幌延町の保育園で保育士として三年間勤務。昨年五月、ご主人と結婚し、標津町民に。「標津に住んで感激したことは、海のあるまちが初めてなこと。のために、遊び場を含めた子供教育の環境整備にも力を入れてほしいですね。子供たちの発想を大切に、想像力を養ってあげたい」。保育の仕事をしてきた経験から子供についていけます。
「今は子育てに追われていますが、ある程度したら、まちにどんどん溶け込んで、イベント

あり、新鮮でおいしい魚が食べられることです。サケのはらすは最高ですね。魚がこんなにおいしいとは思いませんでした。さすが海のみちだと実感したそうです。
また、生涯学習センター、特別養護老人ホーム、病院、現在建設中の保健福祉センターなど福祉施設の充実ぶりに感心。その反面、「将来を担う子供たちのために、遊び場を含めた子供教育の環境整備にも力を入れてほしいですね。子供たちの発想を大切に、想像力を養ってあげたい」。保育の仕事をしてきた経験から子供についていけます。
「今は子育てに追われていますが、ある程度したら、まちにどんどん溶け込んで、イベント

トやまちづくりにも積極的に参加していきたいと思っています」
趣味はケーキ作り、料理、手芸、洋裁。洋裁では、百日を迎えたばかりの長女「美和」ちゃんの手掛けている良きお母さんです。



菲澤ユリ子 さん

(北川北・73歳)

毎週土曜日の午前九時三十分になると、「川北老人クラブ踊り子」のメンバー十五人が福寿荘(川北)に集まり、舞踊の練習に汗を流しています。その代表が菲澤さん。ビデオを見ながら自宅で練習して、熱心にメンバーに教えて

いるそうです。

菲澤さんは、七年前に体調を崩しましたが、老人クラブに入り、友達と接し、その中で若い頃から好きだった舞踊を始めてから病氣も完治したといっています。「踊っている時は、すべてを忘れ夢中になれるのがいいですね。仲間と踊ると楽しく、病氣も吹き飛んでしまうほど。事実、私も踊りのお蔭ですっかり元気になりました」と今では健康二重丸。

踊りは“元気の源”

得意な民謡の踊りの曲は「道南口説き」。地域の文化祭や、お祭り、演芸大会などでも披露され、人気を呼んでいます。

昨年からは、川北生涯学習センター主催の園芸や俳句教室も受講、民謡も練習中とか。「踊りだけではなく、いろんなものに挑戦していきたいですね」と、その活発さが菲澤さんの「元気の源」かもしれません。

しづつ 歴史発見!?



ホー川史跡自然公園 副園長 梶田 光明

会津藩の十年にも満たない治世の中で、実際に行われたことの一つに「教育」がある。断片的な資料しかなく全体像をつかむことは難しいが、発端は標津に南摩綱紀(なんまつなのり)という会津藩の儒学者が配置されたことによる。

綱紀について紹介すると、字は士張、号は羽峰と言う。文政六年生れ。十歳で藩校日新館に学び、二十五歳の時、藩命で江戸の昌平校に入る。さらに洋学を修め、安政四年、藩に建議して西洋学館を

建て、洋学の教授に当たったという。蝦夷地には文久二年から慶応三年まで六年間、標津の代官として在勤した。この蝦夷地在勤は、藩内の洋学に反対する勢力との対立に原因があったと言われる。その後、蝦夷地勤務から一転して京都藩邸の学職となって、戊辰戦争の渦中に働き、会津降伏後に越後高田藩にあずけられた。



南摩綱紀が加賀伝蔵に送った掛軸

ここでも正心学舎を開き学問を教えたという。明治政府に迎えられる、京都府、太政官、文部省と勤め、東京帝国大学、高等師範、女子高等師範の教授を歴任している。

会津藩は教育に熱心で、その教育によって日本で最強の藩をつくりあげていたのである。標津ホニコイに築いた陣屋の計画の中に学校が入っていたのがうなずける。

標津での教育であるが、南摩先生が書いた「環碧楼遺稿」によると、標津の官舎に藩士の子弟を集めて学

「教育」の始まり

問や武術を教えていたようである。その思い出として、約1kmほど離れた陣屋から冬でも素足に下駄ばかりで毎日欠かすことなく通ってきた子供がいた。藩の医師角田良智の子息で、後に海軍中将となった角田秀松であったと記している。

南摩先生から聞いたことを書いた「南摩羽峰先生伝」には、各村を巡り、アイヌを集めて、建国の体制、皇祖列聖の偉徳、忠孝人倫の大道、歴史史乗の概要を教えたところがある。

さらに南摩先生が晩年になって、標津の代官であった時に、孝経をアイヌ後に翻訳して作った教科書を人に頼んで探し、西別藤野伝話所で見つけた話も残っている。

こうしたアイヌ語訳は、蝦夷地の経験の少ない南摩先生が自ら行ったのではなく、当時標津に住み、並ぶものがないと言われたアイヌ語通辞加賀伝蔵の力によるところが大きかったと思われる。加賀家文書の中に、この教科書と思われるものもある。これが標津の「教育」の始まりで、南摩綱紀と加賀伝蔵という二人が出会わなければできないことであった。

就学資金の援助・貸付を実施します

町教育委員会では、子どもの学校生活のための学用品代・給食費などや、義務教育以上の各種学校に進学・在学における学資の支弁などが困難な方々に対し、次のとおり援助・貸付を行っています。

■対象者・貸付金額など 次表のとおり

■申込・受付期間 3月下旬～4月上旬

★申し込み、お問い合わせは、町教育委員会（☎2-3110）まで。

援助・資金名	対象者	援助・貸付額
就学援助 (小・中学生対象)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、生活保護を受けている方、または受けていたが停止や廃止により経済的に困っている方 ・長い病気や突発的な事故や災害などのために経済的に困っている方 ・その他収入が少ないなど経済的に困っている方 	町教育委員会にお問い合わせください。
奨学資金	<ul style="list-style-type: none"> ・本町住民の子弟で、平成9年度に義務教育以上の学校(高等学校、大学、短期大学、専門学校等)に進学または在学中の方で学資の支弁が困難な方 	高等学校 月額 8,000円
		大学・短大 専門学校 看護学校 月額 20,000円
		保健婦学校 助産婦学校 月額 25,000円

み・ん・な・の・掲・示・板

標津スキー協会

レディース講習会

講習案内

- 日 程 / 1月20日(月)・1月21日(火)・1月27日(月)・1月28日(火)
2月3日(月)・2月4日(火)の計6回
(すべて参加するのが無理でもOKです)
- 場 所 / 金山スキー場
- 指導者 / 遠藤慎吉さんほか(標津スキー協会会員)
- 時 間 / 午前10時30分～午後2時30分
- 受講料 / 上記日程のうち、何回参加しても1,500円
(当日受付けます)

※女性の方に限らず、男性の方でも参加できます。

★お問い合わせは / 遠藤慎吉宅 (☎4-2117)

忠類川サケ・マス釣獲調査

サケ1,878匹・マス5,727匹

～忠類川釣獲調査最終結果～



～月別釣獲調査結果～

月	従事者数	サケ	カラフトマス
8	1,741 ^人	1 ^匹	558 ^匹
9	2,953	857	4,240
10	1,577	710	929
11	431	310	0
計	6,702	1,878	5,727

郵便局

郵便局の福祉定期を 受付中です

- 取扱期間 平成9年2月28日まで
- 利 率 4.15% (税引後3.32%)
- 限 度 額 300万円
- 対 象 者

母子年金、障害者年金、遺族年金、老齢福祉年金などを受給されている方

■申込方法

印鑑と年金証書、手当証書などをお持ちのうえ、窓口、または、セールスマンに申し出ください。

★申込み、お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

表札の掲示を お願いします

郵便物を確実にお届けするために、表札の掲示について、町民の皆さんのご協力をお願いいたします。

★お問い合わせは、お近くの郵便局まで

狩猟

**メスジカの狩猟が
解禁されます**

次の地域でメスジカの狩猟が解禁になります。

■可猟区域町村

- ・網走支庁…美幌町、津別町
- ・十勝支庁…足寄町
- ・釧路支庁…弟子屈町、阿寒町、鶴居村、白糠町、音別町

■可猟期間

1月6日(月)～1月15日(水)

※上記の町村の山野へ立ち入る時は周囲の状況に十分注意しましょう。

※狩猟を行う場合、法令を守ることはもちろん、脱砲の励行、矢先の確認など基本的なマナーを守り、事故のない安全な狩猟を心がけましょう。

※捕獲したエゾシカの残骸、空き缶、ゴミ、空薬きょうなどは猟場に放置することなく、必ず持ち帰りましょう。

★お問い合わせは、役場農林課林政係(☎内線214・234)まで。

防災

火災防止の注意事項

～たばこによる火災を防ぐためには～

- 寝たばこは絶対にやめましょう。
 - 吸い殻は専用の吸い殻入れに捨てましょう。
 - 灰皿には水を入れましょう。
- ※各家庭に最低1本は消火器を備えましょう。

—標津消防署—

道路

あなたの声からはじまる道づくり

平成10年からスタートする新しい道路計画をつくるため「キックオフ・レポート」で全国3万5千人の方から11万件を超える「みち」に対するご意見をお寄せ

いただき、ありがとうございました。

いただいたご意見は、建設省の諮問機関である道路審議会の「21世紀のみちを考える委員会」で分析・検討を行い、その結果を「ボイス・レポート」にとりまとめました。

ご意見をいただいた方々に深くお礼を申し上げるとともに、みなさんの声を活かした新たな道路計画づくりに努めていきたいと考えています。

★お問い合わせは、釧路開発建設部(☎0154-41-0111)まで

通行止めのお知らせ



上記のとおり、冬期間のため一般道道薫別川北線の一部が通行止めとなります。

■期間

平成8年12月1日～平成9年5月10日

—釧路土木現業所中標津出張所—

就労対策

冬期就労対策事業を実施中です

町では、冬期間の就労の場のない労働者の方のために、仕事の提供を行っています。

■仕事の内容

主に道路の除排雪作業など

★お問い合わせは、役場水産商工課商工労働係(☎内線219)まで

戸籍の窓口から

(11月11日～12月10日届出分)

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住所
伊藤 良則さん	守屋 ムツさん	桜木町
花田 裕二さん	中村麻里子さん	忠類
西山 一樹さん	柴野由美子さん	緑町

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
坂野未沙輝ちゃん	緑町	坂野 尚行 子次
小川恵里奈ちゃん	緑町	小川 健里 次美
木村 祐貴くん	弥栄町	木村 祐 智円
金井美奈実ちゃん	上古多	金井 哲麻 雄理子
藤山 莉菜ちゃん	寿町	藤山 美智夫 子リ子
工藤 杏奈ちゃん	薫別	工藤 雅和 二江
松崎 翔馬くん	若草町	松崎 敬澄 美江
丸山結梨香ちゃん	旭町	丸山 宣雄 由美恵
阿部優衣奈ちゃん	桜木町	阿部 昭十 宏秋

おくやみ申し上げます

氏名	住所	年齢
福澤はつとさん	望ヶ丘町	84歳
及川ハルさん	緑町	91歳
越膳榮太郎さん	曙町	55歳
渡辺義春さん	茶志骨	58歳
猪狩春吉さん	伊茶仁	85歳
小野瀬 登さん	住吉町	61歳

**寄付・寄贈
ありがとうございました**

- 町社会福祉協議会に—
活動資金として
・聖友標津支所・猪狩はすいさん
香典返しをやめて
・伊藤隆悦さん
- ポー川史跡自然公園に—
・豊敏重さん・高桑実さん
・中洞博資さん(別海町)

届出

「調理師就業届出」の提出をお願いします

調理師法に定められている「調理師就業届出」については2年ごとに提出することが義務づけられています。

次の場所に従事している調理師は、必ずこの届出の提出をお願いします。

■従事している場所

- ・寄宿舎、学校、病院、事業所、社会福祉施設、老人保健施設、矯正施設、その他多数人に飲食物を調理して提供している施設
- ・飲食店営業、喫茶店営業、魚介類販売業、惣菜製造業

■提出期日

1月15日(水)

■提出先

(社)北海道全調理師会中標津支部(レストラン河亭)

★お問い合わせは、同会中標津支部(☎01537-2-2772)または中標津保健所(☎01537-2-2168)まで。

スポーツ

1月のスポーツ

5日(日)

▷第21回新春スプリント大会
〔9時30分～町営リンク〕

12日(日)

▷ミニテニス講習会
〔10時30分～総合体育館〕

16日(木)・17日(金)

▷初心者スケート教室
〔10時～町営リンク〕
〔13時30分～川北リンク〕

19日(日)・26日(日)

▷ファミリースキー教室
〔10時～金山スキー場〕

健康相談・健診日程表
〈1月分〉

乳幼児

■乳幼児相談

21日(火)〔標津〕
〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分/あすばる〕
※午前部 10・13カ月児、午後部 4・7カ月児対象
23日(木)〔川北〕
〔13時30分～14時30分/川北生涯学習センター〕
※4・7・10・13カ月児対象

■歯ピカ教室

13日(月)
〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分/あすばる〕

成人

■一般健康相談

13日(月)
〔10時～11時30分/標津消防署第2分団(薫別)詰所〕
〔13時30分～14時/崎無異・中野さん宅〕
24日(金)
〔13時～16時/役場相談室〕

■糖尿病健康相談(予約制)

22日(水)
〔10時～16時/役場相談室〕

妊婦

■ママスクール

10日(金)・17日(金)・24日(金)・31日(金)
〔13時～15時/あすばる〕

★お問い合わせは、役場福祉保健課保健指導係(☎内線129・131・135・138)までお気軽にご相談ください。

ごみの収集日

曜日	一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〔有料〕	不燃物収集日 (無料)
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・緑町・弥栄町・曙町	1月6日(月)・1月23日(木) 2月6日(木)
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・桜木町・住吉町・東浜町	1月7日(火)・1月24日(金) 2月7日(金)
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・薫別・崎無異・古多糠	1月8日(水)・1月22日(水) 2月5日(水)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

特殊自動車の車種区分が変わりました

道路運送車両法施行規則の一部改正に伴い、従来、大型特殊自動車であった次の農耕トラクターなどが小型特殊自動車に移行され、固定資産税(償却資産)から軽自動車税の課税客体に変更されました。

現在所有している小型特殊自動車に該当となるトラクターについては確定申告時に確認します。また、平成9年1月1日以降の登録については役場税務課で行いますので、ご協力をお願いします。

小型特殊自動車の規格等の変更点

区 分	長さ (m)	幅 (m)	高さ (m)	最高速度 (km/h)	総排気量 (ℓ)	
現 行	4.70以下	1.70以下	2.00以下	15以下	1.5以下	
改 正 後	農耕トラクター	制限なし	制限なし	制限なし	35未満	制限なし
	産業・建設車両	4.70以下	1.70以下	2.80以下	15以下	制限なし

水道給水の凍結にご注意を!!

—役場・上下水道課から—

●水道水の凍結防止方法

お出かけ前・就寝前には、はじめにすべての蛇口(カラン)を全開(水をだしっぱなし)にし、水抜き栓のハンドルを完全に閉めて水が抜けるのを確認してください。

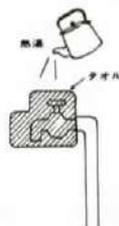
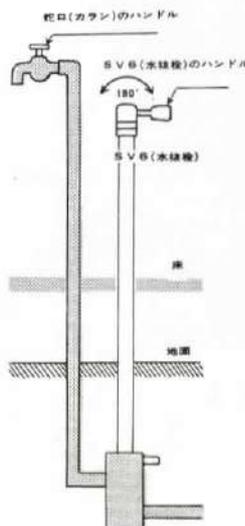
●水洗トイレの凍結防止方法

トイレ内に水道の元栓がある方は、台所の元栓と一緒に閉めることを忘れずに。就寝前や日中留守にする方は、ロータンのレバーを「大」の位置で止めタンク内の水を抜くことを忘れずに。

★もし凍ったときは—

蛇口にタオルや布切れをまいて熱湯をかけてください(水抜き栓のパイプ部分は凍りませんのでかけないでください)。それでも水が出ないときは、役場または下記の業者へ連絡してください。

- ▶大標設備工業(有) ☎2-3332
- ▶出口設備(有) ☎2-2479
- ▶更谷商会 ☎5-2036
- ▶奥商会 ☎5-2021



国民年金

年金は世代と世代の 支え合い

昭和35年に発足した国民年金制度は今年で37年を迎え、今年1月からは「基礎年金番号」もスタートして、より一層国民に定着することになりました。

国民年金には20歳から60歳までの40年間加入し、その保険料は受給者の年金給付の原資となり、現在の被保険者が老齢となったときは次代を担う子供たちが成人して納める保険料によって年金給付が賄われます。

年金は「世代と世代の支え合い」によって成り立っており、いわば「未来にかける夢の橋」といえましょう。

★年金に関する相談、お問い合わせは、役場住民課国民年金係(☎内線130)まで。

募集

新春「鮭いずし」大試食会 参加者募集中!

町観光協会では、標津町の伝統鮭料理「鮭いずし」の大試食会を実施します。

この大試食会は、鮭いずしを食の観光へとつなげていくことを目的としたもので、同協会では、次のとおり参加者を集めます。

- 日 時 1月12日(日)午後2時～
- 場 所 あすばる
- 内 容

当日は、参加者が持ち寄った数々の鮭いずしについて、懇談会を開きます。また、出品された鮭いずしが町内の旅館や飲食店で活用できるかなど検討します。

■参加資格 町内在住の方

■申し込み 同協会事務局まで

★申し込み、お問い合わせは、同協会事務局(役場水産商工観光課☎内線216)まで。

「ゆかいな仲間たち」



横澤 英三さん

(川北旭町)
川北中・教諭

一人の知人もなく「これからどうやって暮らしていこう」という不安な気持ちを持ちながら、標津町に移り住み、早いもので十二年が過ぎました。

当初抱いていた不安な気持ちも、先輩の先生方の心遣いによってすぐに吹き飛びました。

しかし、教員の世界は交友範囲が大変に狭いものです。テニスをするのも、ゴルフをするのも、ス

キーに行くのも、夕食を食べに行くのも、いつも同じ学校の先生方と一緒にした(そのおかげで同僚の先生と結婚できたので良かったのかもしれない)。

「そんなことをしては、井の中の蛙になってしまふから、交友範囲を広げていろいろな人と交流すべきだよ」とよく言われたのですが、「元来面倒くさがりで内気な私は実行できずにいました。」

そんなおり、平成五年に現在の勤務校である川北中学校へ転動になりました。初めの頃は例によって教員の殻に閉じこもっていましたが、あるきっかけがもとで新しい仲間ができました。

私は昨年度から野球部の顧問をしています。昨年のある日、一人の川北中学校野球部OBの方と

話をする機会がありました。その人の時代は、川北中学校野球部は大変に強かったとのことで、当時の練習の話や先生の指導の話をしてくれました。そのとき、私は酒に酔った勢いもあって「来年は管内大会で勝って、全道大会に行きます」と、大風呂敷を広げてしまいました。するとその人は、同級生などに電話をかけ、あつという間にOBチームを結成し、しかも中学生との練習試合まで決めてしまいました。その行動力には感心させられました。

結果的には、野球部は管内大会で破れてしまいました。それが来OBの方々とは、いろいろとお付き合いさせてもらっています。野球を通しての交流や、酒を飲んでの世間話など、自分にとっては楽しく新鮮なものがあります。また、こうしてできた仲間たちや同僚の先生たちと、ついにはミニバレーのチームまで結成してしまいい、一緒に汗を流しています。教員の殻を破って良かったと感じるこのごろです。

「ゆかいな仲間たちに乾杯！」

次の「まちの声」は川北寿町の辻明彦さんです。

次回の「まちの声」は川北寿町の辻明彦さんです。

人のうごき

- ・人口 6,711人 (-11)
 - ・男 3,250人 (-10)
 - ・女 3,461人 (-1)
 - ・世帯数 2,330世帯(+3)
- ▷平成8年12月1日現在
()は前年比

町内の交通事故

- ・人身事故 1件(15)
 - ・負傷者 0人(16)
 - ・死亡者 0人(0)
 - ・物損事故 24件(236)
- ▷11月16日～12月15日まで
()は累計

編集のまど

▽明けましておめでとうござい
ます。今年には皆さんの最良の年
になるようにと願っています。
▽自分ごとで恐縮ですが、新年
号の発行は、今年で五回目。知
らず知らずのうちに時間が経っ
た気がします。その間、いろい
ろな方々にお会いし、励まされ、
ご指導いただいたり、また時に
は壁にぶちあたったりと、その
繰り返し。▽町の職員訓「自主」
「創造」「思い遣り」を胸に、難し
いことですが町民と行政のパイ
プ役となる広報紙づくりを目指
します。
▽広報紙へのご意見やご感想を
お寄せください。お待ちしております。
(H)

広報しべつ

- ・発行日/平成9年1月1日
- ・編集・発行/標津町役場 総務部企画振興課広報統計係
〒086-16 北海道標津郡標津町字標津3番地5
☎ 01538-2-2131・FAX 2-3011
- ・印刷/標津印刷(株)